

2019,5,26

## 与助谷山・駒ヶ岳縦走トレッキング

素晴らしい好天。高島市が誇るブナ原生林プロムナードを体感。眺望も素晴らしく、歴史も満載、お花もたくさん出会い、この時期の自然をたっぷり楽しみ大満足。沢越えもあり緊張する場面もあり、ゆっくり落ち着いて変化に富んだ山歩を楽しみました。珍しいお花に会い「ワァー初めて・・・」と、急いで駆け寄りお写真に。少しテンション上がり気味の場面もありで楽しかったです。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

### ◆歴史 ※池河内越・駒ヶ越は滋賀県

朽木地区から若狭河内に通じる古道。朽木中小屋から与助谷山は古道を歩く。山の主のように、カシの巨木がズッシリと2本あります。樹齢は400年越えかも、とにかく風格があり。古から旅人の安全を見守って来たのでしょうか。



### ※林業の痕跡



① 何か、痛々しい・・・「かわいそうね・・・」

②境界を示す。エコな仕事ですね。

※カツラの巨木：朽木地域はカツラの木を聖木とみなし、伐採しなかったそうです。溪流添いに巨木が残ってます。

※ブナの巨木：「これは凄い・・・樹齢は、う～ん・・・」  
周りを囲むには3人は必要ね。





## ◆自然観察

①**栃の木** : こんなことも確認しました。ちょっぴり感動ものです。



栃の実から発芽し成長している」

②**キツツキ**の巣づくり

キツツキが木に穴をあけ木くずを散らかしている



③**エビフライ** : 「さあ〜召し上がれ・・・」

④**テツカエデ**と**ウリハダカエデ**の違い

松の実をリスが上手く食べたあと  
・・・。オードブルにしました。



テツカエデ：葉柄が丸い



ウリハダカエデ：葉柄に溝がある

⑤**熊の皮剥ぎ**(クマハギ)



クマハギの発生時期は、春先から初夏にかけてです。  
剥がされた樹皮片は、バナナの皮を剥いだように樹木と繋がって残っています。樹皮を剥がされた木部を良くみると、こそぐように門歯の跡が垂直方向に残っています。

みなさんも立ち止まって確かめてみましょう。

⑥**その他**



クマシデ



ギンリョウソウ



ツクバネソウ



ヤブデマリ



タニギキョウ [次ページへ](#)





ホウノキ



ブナの実



ヤマボウシ



ナナカマド



カマツカ



トチの花



ミズキ



ミゾハウズキ



エビネ



エビネ



ツリバナ



ヤマゴボウ



ミズタビラコ



エビネ



エビネ

### ◆トレッキングの様子



クマシデを撮る



ギンリョウソウを撮る



手づくり冷凍柿のおやつタイム



ヤブデマリを撮る



与助谷山のブナ原生林



与助谷山山頂にて



駒ヶ岳西尾根



ブナの巨木の観察



じっくり観察



駒ヶ岳山頂にて 780.1m



焼尾東谷へ



カツラの巨木



無事下山。お疲れさま。